



■ 学園の教育目標

ひとりだち

挑戦

創造

貢献

■ 年間の指導の捉え

学期	1学期						2学期											
	1期		2期		3期		4期		5期		月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月								2月
キーワード	めざす		高め合う		やりきる→見つめる		工夫する		誇りと感謝と決意をもつ									
指導の重点	○目標づくり、システムづくり 新たな自分づくり、仲間づくりの目標をもち、共に活動する中で、自分の有用感を感じ、今後の活動につなげる意欲を高める指導		○組織的な動きの確立 体育大会での活動を振り返り、自分の目標を高めるとともに、高い目標をもつ仲間と共に活動することを通して、全員の気持ちが一つになることによる実感できるようにする指導		○同じ気持ちになってやりきる 夏休み前に高めた組織の力、自己有用感を活かし、宿泊行事と日常活動の両輪で取り組み、達成感からさらに集団を高めていこうとする意識を生み出す指導		○工夫する よりよい学級にするための後期組織づくりから、今年の自分たちの学級だからできること、今年しかできないことを工夫し、質を高める指導		○感謝と決意 自分の成長を自覚し、「自分の誇り」と「上級生や仲間、先生や地域の方々への感謝」を姿で示し、進級・卒業への意識を高める指導									
指導の対象	個を高める		集団を鍛え、高める				集団を質的に高める				個を質的に高める							
確立するもの	学級の規範・正義の確立 (生活の約束、学び方、人を大切にすること) 組織的な動きの確立 (自ら呼びかける、応える、想いをくんで動く)						学級文化の創造 (今年、この仲間としかできないこと、誇りをつくる)											
学級経営の基本的な捉え	<p>学級開き → 学級目標づくり → 学級組織づくり → 学級解散</p> <p>体育的行事 (体育大会 5/30) → 宿泊的行事 → 文化的行事① (ふるさとW、村民文化祭) → 文化的行事② (9あり会 2/5)</p> <p>学級開きから「自分づくり」へ、学級のよさを生かす。体育大会のよさを学級に生かす。「自分づくり」から「組織づくり」へ。さらにできることを工夫する。今年の自分たちとしかできないことを創る。自分たちの学級や活動に誇りをもつ。共に歩んできた仲間や先生に感謝の気持ちをもつ。</p>																	

■ 各学年で育成をめざす指標

学年	1学期前半 (体育的行事等)	1学期後半 (集団・宿泊的行事等)	2学期前半 (文化的行事等)	1年間の出口
9年生	学園のリーダーとして、下級生の仲間と学級、結クラス、団などと支え合い、学園全体の高まりを創り上げようと挑戦することができる。	学園のリーダーとしての自覚をもち、学級の仲間のために、リーダーシップを発揮して、互いに高め合える集団をつくることができる。	学園のリーダーとして、全校の仲間と工夫しながら、誇りある活動を創り上げ、発信することができる。	仲間と支え合って創り上げた生活や学習、また自己の課題を克服したことを振り返り、自信を誇りにつなげ、共に高め合い創り上げた仲間への感謝とひとりだちへの決意をもつことができる。
8年生	学園のサブリーダーとして、9年生を支え、学園全体をよりよくするために、下級生とともに活発な活動を創り上げるために挑戦することができる。	学園のサブリーダーとしての自覚をもち、9年生を支え、具体的に目標を立てて挑戦することができる。下級生の活発な活動を創り上げるために協力することができる。	学園のサブリーダーとして、仲間や他学年の仲間と活動を工夫して発展させ、そのよさを発信することができる。	仲間と共に高め合ってきた学習や生活を自信や誇りにつなげ、学園の最高学年になる決意をもつことができる。
7年生	高ブロックの一員として、学園全体の高まりを視野に入れ、自己の役割を誠実に果たし、集団や自己の高まりを実感することができる。	高ブロックの一員としての自覚をもち、仲間と共に自己のさらなる成長を求めて挑戦することができる。	高ブロックの一員として、仲間と共に、他学年の仲間と共に活動を工夫しながら、集団や自己の高まりが実感できるまでやりきるすることができる。	仲間と共に創り上げた生活や学習を見つめ、自己や仲間の成長を互いに認め合い、自信や誇りをもとに、学園のサブリーダーになる決意をもつことができる。
6年生	前期課程のリーダーとしての自覚をもち、仲間と協力して、同級生、下級生のよさを生かして、自分の役割を誠実に果たし、達成感を得ることができる。	前期課程のリーダーとしての自覚をもち、仲間と協力し、下級生の目標となる自分づくりに挑戦することができる。	前期課程のリーダーとして、仲間と共に、活動に工夫を加え、質の高い活動の姿を生み出していくことができる。	仲間と共に、工夫を加え続けて取り組んだ活動を振り返り、自信と新たな決意をもって、後期課程へ進級することができる。
5年生	前期課程のサブリーダーとして、学園の活動を高めるために、役割を誠実に果たすなど、上級生のよさを自分に取り入れ、下学年の目標になる自分づくりに挑戦することができる。	前期課程のサブリーダーとしての自覚をもち、6年生を支え、下学年の目標になる自分づくりに挑戦することができる。	前期課程のサブリーダーとして、自分たちで活動に工夫を加え、よりよいものを創り上げ、発展させていくことができる。	仲間と共に取り組んだ1年間の自信、また6年生の活動に対する感謝、そして、前期課程をリードする決意をもって、進級することができる。
4年生	低ブロックのリーダーとして、上級生から示された目標達成のために仲間と協力して、取り組みをやり切り、達成感を味わうことができる。	低ブロックのリーダーとしての自覚をもち、下級生の目標となる姿として、学園の一員を意識した自分づくりに挑戦することができる。	低ブロックのリーダーとして、自分や集団の目標達成のために活動を工夫し、よりよいものにしていくことができる。	自分のことは自分でやるなど、基本的な生活習慣を確立するとともに、仲間と共によりよい活動に取り組み続けたことに誇りを持ち、自信をもって進級することができる。
3年生	低ブロックのサブリーダーとして、他学年、仲間と協力して、自分や集団の目標達成に向けての取り組みをやり切ることができる。	低ブロックのサブリーダーとしての自覚をもち、規律ある生活の中で、4年生を支えるとともに、下学年の目標となる姿に向けて、挑戦することができる。	低ブロックのサブリーダーとして、自分や集団の目標達成に向けて協力して活動を工夫することができる。	互いのために力を出し合った仲間を誇りに思い、さらによりよい自分や学園になるように力を出し切る決意をもって進級することができる。
2年生	基本的な生活習慣を身に付け、学習や生活における規律を守り、上級生からの働きかけに応じて、自分から行動することができる。	学級の中での自身の役割を理解し、学級、学園のための活動を続けて行うことができる。	自分のよさを仲間のために発揮し、活動を工夫し、やり切ることができる。	仲間と共にやりきった自分の成長を振り返り、仲間と共にさらに楽しい生活を求めようという決意をもつことができる。
1年生	学園の生活に慣れ、生活、行事をリードする上学年の指示を理解し、動くことができる。	生活リズムを整え、安定したリズムを継続することができる。	同学年や上級生の仲間と協力しながら、楽しく活動に取り組むことができる。	入学からこれまでの自分の成長を自分のよさの一つとして自覚し、新入生の手本となる決意をもつことができる。